

きぼう

明石市立大久保北中学校 第2学年
学年通信 第70号(170)
令和元年12月3日(火)

真の苦勞は人目につかない苦勞である。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

2019年を締めくくる月…師走

～今年を振り返り来年に繋げる～

2年目の2学期がもうすぐ終わろうとしています。12月は1年を締めくくり、新しい年を迎えるにあたっての抱負や目標を立て、自分を更に成長させるための姿勢をつくる時期です。授業や行事、日常の活動を通して自分はどうかであったかを、しっかりと振り返りましょう。HRもあります、それまでに考えておきましょう。何ができたか、何ができるようになったか、何が課題か…、を明確にしましょう。そして、更に上を目指すために何をすべきかを考え、実行しましょう。

テストのあとも大事…

テストのあとの勉強については、これまでも言ってきました。期末テストが終わると気も緩みがちですが、積み上げていくためにしっかりとやり直し(復習)をしましょう。テストの度に復習を繰り返すことで、確実に身につけていきます。冬休みにかけて、3年生につなげるためにもじっくりと取り組んでいきましょう。

道徳研究授業…「1組」がんばりました！

道徳の研究授業がありました。2年生は1組が選ばれ、「国境なき医師団」の文章を読み、「命を大切にすると」について考えました。ポスニア・ヘルツェゴビナで「国境なき医師団」の一員として働く貫戸朋子のもとに、助かる見込みのないと思われる5歳の男の子が運ばれてくる。酸素ボンベが1本としかないという状況の中、この子のために酸素を使い続けるのか、それともこれから来る患者のために酸素を切るか…。命を大切にすることについて深く考えました。1組以外のクラスは翌週と同じ内容に取り組んだと思います。今回の授業で考えた「貫戸さんの判断」、「自分の判断」、「友達の判断」を元に「命を大切にすることについて深く考え、よりよい人生を送られるようにしてほしい」と思います。



第34期生徒会選挙

清き一票を！

～みんなで創り上げよう～

期末テストも終わり、2学期も終盤になってきました。本日は生徒会立会演説会、生徒会選挙、開票作業、選挙結果発表がありました。先週、期末考査前から選挙運動が始まり、今朝まで朝早くから選挙活動を行っていました。立候補者、責任者にとってはとても忙しい1週間になったと思います。この1週間の勉強と生徒会選挙との両立はこれから1年間の活動のためには良い経験になったのではないのでしょうか。各候補者の応援に向けて準備を進めてきてくれた仲間とともに、最後まで頑張ってくれると思います。また、学級はもちろん、学年としてしっかりと応援し、支えていきましょう。立会演説ではしっかりと聴き、投票では無効票やいい加減な票が出ないように真剣に考えて『投票の義務』を果たしてくれたと思います。次期生徒会がよりよい活動ができるように協力していきましょう。また、2年生においては、これからは学校のリーダーを担う立場になります。その自覚をしっかりと持ち、それにふさわしい態度で生活を送りましょう。これから始まる第34期生徒会に期待しています。

【会長候補】	2組	
【副会長候補】	3組	5組
【書記候補】	4組	6組
【HR委員長候補】	3組	
【整美委員長候補】	2組	
【文化委員長候補】	2組	
【体育委員長候補】	4組	
【保健委員長候補】	4組	
【放送委員長候補】	4組	
【図書委員長候補】	1組	
【生活委員長候補】	5組	



★★毎学終了★★

～12月2日(月)

22冊目…	15冊目…
9冊目…	8冊目…
7冊目…	6冊目…
5冊目…	
4冊目…	
3冊目…	
2冊目…	